

## 社会福祉学部 カリキュラム・ポリシー

### ■ 社会福祉学科

- ① 社会福祉学科のミッションである「多様性を認め合い、共に生きる社会の構築・実現」、「地域社会の活性化・地域づくり」に資する人材養成に向けて、多様な学びを実現する 3 つの科目領域、各領域の重なりを踏まえた 10 の科目群を設定する。その核には社会福祉学を位置づけ、社会福祉学に関する基礎的かつ包括的な学びを実現する科目を配置すると同時に、各領域では学生の体験型学習を重視する実習・演習科目を配置する。また、福祉と地域デザイン、地域デザインと教育、教育と福祉という領域横断的な科目を設置する。
- ② ソーシャルワーク領域には、ミクロレベル(個人・家族・小集団)からメゾレベル(地域)、マクロレベル(制度・政策)までを視野に入れたソーシャルワークの価値・知識・技術を学ぶ科目を配置するとともに、多様な福祉現場における体験的かつ実践的な学習を重視した演習・実習科目を配置する。また、行政や地域福祉の現場において求められる計画立案・実行のために必要な知識・技術を習得するための科目を設置するとともに、多様な人々との共生を学ぶための国際比較福祉に関する科目も配置する。
- ③ 地域デザイン領域には、福祉的視点で企業活動、行政(国・地方自治体)、NPO・NGO等の活動に取り組む能力、あるいはコミュニティ・サービスなどを担うための能力獲得に向けた各種講義科目と実践的科目(実習等)を配置するとともに、地域社会の活性化・地域づくりとしての諸活動を実践できる能力の形成を目指した講義・実習科目を配置する。
- ④ 教育臨床領域には、多様な対象と福祉的視点をもって関わりつつ、適切な教育活動を展開するために必要な福祉・教育に関する包括的な価値・知識・技術を学ぶための科目を配置する。また、教育現場への実習科目を配置するとともに、教育現場・地域社会・家庭の相互作用を踏まえて子どもを理解するために必要な視点の形成に向けて、スクールソーシャルワークに関連する科目を配置する。

### ■ 心理学科

心理学科の教育目標は、心理学に関する専門的知識と技能を基礎から応用まで幅広く身につけると同時に、心理学的マインドを養い、医療、教育、福祉、産業、組織など様々な領域において、地域社会に貢献する実践力と人間性を備えた人材の育成を行う

ことにある。この教育を通じて、科学的な人間理解の能力、積極的に他者と関わることのできる感受性、豊かな人間性を育むことにより、医療、福祉、教育など様々な領域において心理臨床家として対人援助を実践することのできる人材、特別支援学校や高等学校において心理学的なスキルとマインドを備えた教師として教育を実践することのできる人材、企業組織においては科学的な調査にもとづく分析能力と高いコミュニケーション能力を備えた人材を養成する。

このような目的を達成するために、心理学科では、科学的な基礎心理学を主体に学ぶ「心理科学コース」と、対人援助実践のための心理学的知識や技能を学ぶ「心理臨床コース」を設け、いずれのコースにも、心理学の体系的・包括的な知識を教授し、こころの諸問題や心理学的現象が発生する要因の分析および解決策を導き出すための、実験、実習、演習、講義科目を配置している。

各種科目は、ディプロマポリシーに掲げられた目標を達成するために、以下の通り体系的に編成されている。

1. 心理学および隣接諸科学を踏まえた多様で総合的な専門的知識を習得するため、基礎心理、対人・社会、発達・教育臨床、福祉・医療、教育関連の科目群に分けて講義科目を配置する。あわせて、それらの知識の医療、教育、福祉などの領域への応用や実践的活用のため、心理学と心理的支援、心理学的支援法や、障害教育に関わる科目を配置する。
2. 人間のこころの仕組みやそこに発生する心理社会的な諸問題に関して心理学的見地から検証する能力を涵養するため、心理学研究法、心理学統計法、心理学実験、心理学実験特殊実習などの講義および実習からなる基幹科目を配置する。
3. こころの仕組みと病に関わる問題の発見と解決に必要な知識と能力を涵養するため、臨床心理学、発達・教育臨床、福祉・医療の科目群の講義・実習科目を配置する。
4. 他者との円滑なコミュニケーションや、対人援助場面における査定や心理療法を行う際に必要な社会・臨床的スキルを涵養するため、心理学的支援法、心理的アセスメント、ソーシャルスキル実習等の講義・実習科目を配置する。
5. 心理学および隣接諸科学の知識に裏づけられた能動的学修や他者との協働の中で学びを追求する姿勢を涵養するため、少人数による対話や協同を経て能動的に問題を解決する演習科目を配置する。

各科目は、それぞれの科目の特質に応じて、講義、演習、または学外を含む実習形式で展開される。全ての科目はシラバスに明記された成績評価基準に基づき厳正な単位認定評価を行う。